

無作為抽出型区民討議会 開催結果

- 1 開催名称 わいわいみんなで語ろう Part4～一語り行こうぜ！～
- 2 主 催 相模原市南区区民会議
相模原市南区役所
- 3 運営協力 南区若者参加プロジェクト実行委員会
- 4 開催目的 16歳以上の区民3,000名を無作為に抽出し、市政や区政に関するテーマを議論してもらうことで、サイレントマジョリティーの把握と、まちづくりへの興味や関心を持ってもらうことを目的とします。
- 5 開催日時 平成29年11月11日（土） 午後1時から午後5時
- 6 開催場所 南区合同庁舎3階 講堂
- 7 参加人数 38名（参加率1.26%）【58名（承諾率1.93%）】

8 参加者等の分析

(1) 性別

男性：12名（31.6%）【23名（40.0%）】

女性：26名（68.4%）【35名（60.0%）】

(2) 年代別

10歳代：9名（23.6%）【10名（17.2%）】

20歳代：4名（10.5%）【5名（8.6%）】

30歳代：6名（15.7%）【10名（17.2%）】

40歳代：6名（15.7%）【13名（22.4%）】

50歳代：1名（2.6%）【3名（5.1%）】

60歳代：11名（28.9%）【11名（18.9%）】

70歳代：1名（2.6%）【6名（10.3%）】

(3) 地区別

大野中地区：9名（23.6%）【14名（24.1%）】

大野南地区：16名（42.1%）【23名（39.6%）】

麻溝地区：1名（2.6%）【1名（1.7%）】

新磯地区：2名（5.2%）【3名（5.1%）】

相模台地区：3名（7.8%）【5名（8.6%）】

相武台地区：0名（0.0%）【1名（1.7%）】

東林地区：6名（15.7%）【9名（15.5%）】

住所未記入：1名（2.6%）【2名（3.4%）】

※【 】内は申込み時点での数値 ※端数処理により率の合計値≠100%

(4) 参加者の経緯

- ア 平成29年 9月13日 南区内在住16歳以上の男女3,000名を、住民基本台帳から無作為に抽出し、参加依頼通知を送付。
- イ 平成29年10月 1日 58名の参加承諾（承諾率1.93%）があった。
- ウ 平成29年10月 3日 参加承諾者に開催通知を発送
- エ 平成29年11月 1日 参加承諾者へ討議の進め方の周知及び事前検討事項の依頼を行った。

【参考】

- 開催日までに欠席連絡があった者：14名
- 当日欠席者：6名
- 当日参加者：38名（最終参加率1.26%）

(5) 傍聴者 2名

9 開催までの準備

(1) 南区若者参加プロジェクト実行委員会への運営委託

今回の討議会では、南区若者参加プロジェクト実行委員会に、開催事業名称の検討、テーマの設定、進行方法、各班のとりまとめ等を依頼しました。

これは、当該実行委員会が、南区区民会議の検討の中から設置された団体であり、平成27年度に開催した第3回の開催から行っています。

今回の討議テーマである「世代間交流促進のための仕組みづくり」の検討のためには、若い世代、特に働く世代・子育て世代のまちづくりへ参画が重要であり、働く世代・子育て世代の社会人を含めた若い世代自らが、若者のまちづくりへの参画促進に取り組んでいる南区若者参加プロジェクト実行委員会の活動は、本討議会の趣旨に最適であることから、南区役所が当該実行委員会へ運営を委託したものです。

(2) 運営委員会の設置

本討議会の開催方法等を検討するために、南区区民会議委員、南区若者参加プロジェクト実行委員会委員、南区役所職員が運営委員会を組織して準備を行った。

(3) 運営委員会の開催

- 平成29年 7月11日 第1回運営委員会…実施方法の検討
- // 7月24日 第2回運営委員会…実施方法の検討
- // 8月28日 第3回運営委員会…役割分担の検討
- // 10月10日 第4回運営委員会…レイアウト、資料作成、役割分担の決定
- // 10月28日 第5回運営委員会…資料確認、実施方法の再確認
- // 11月 7日 第6回運営委員会…最終確認

(4) ファシリテートスキルの学習

本年7月に、南区区民会議が主催で実施した「ファシリテーター育成研修」を踏まえ、各回運営委員会において、南区若者参加プロジェクト実行委員を中心として、各グループの進行役であるファシリテーターとしての技術を身に付けるための勉強会を実施した。

10 討議内容について

(1) 開催テーマ「世代間交流促進のための仕組みづくり」

他市と同様に、相模原市でも少子高齢化と人口減少の傾向は免れないことが想定されている中で、現在の地域の担い手である比較的高齢の方と、次に地域を担っていく、働き世代・子育て世代、そして将来的に地域を担う若者の各世代が、今から交流を図り、地域を盛り上げていかなければ地域が持続していなくなる恐れがあるという懸念から、その解決方策を、みんなで考えてみようという主旨で設定されたもの。

(2) 具体的な討議テーマ

ア 前半「まちづくりって何だろう？」

イ 後半「〇〇〇をブラッシュアップ！！」

※〇〇〇とは…地域参画の仕組みや既存の地域団体等

地域活動を持続するため一つの方策として、自治会活動など、身近な地域活動へ、多くの人が参加してもらうことが重要であるとの考えから本テーマを設定したもの。

これまでの南区区民会議での検討結果から、世代ごとの考え方には大きな違いがあり、あらゆる世代と一緒に活動を行うためには、お互いの考え方を十分に伝えることが重要であるとの提言から、討議の前半では同世代により考え方の共通認識を図り、後半では、各世代が混在グループをつくり、考え方の違いや違いを埋めるためのアイデア、また、そのアイデアを活用した新たなまちづくりへの参画の仕組みや、既存団体の活動方法等をリニューアルする提案を行うことを目的とした。

(3) 討議方法及び進行

13:00 開会

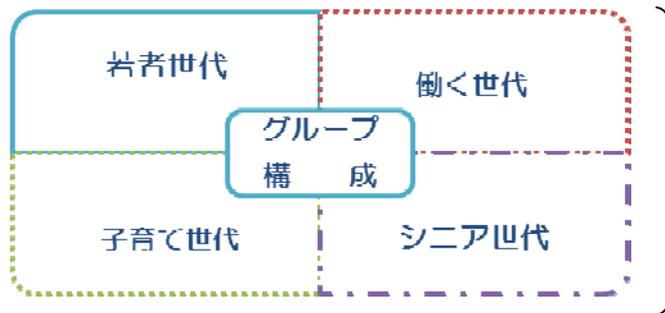
13:20 討議会前半開始【「まちづくりって何だろう？」】

- I あなたにとって「まちづくり」とはどんなイメージですか。
- II まちづくりへの参加は大切だと思いますか。
- III 誰が主体的にまちづくりを推進していくべきだと思いますか。
- IV まちづくりへ参加しやすくするためのアイデア



14:05 休憩(くじ引きで、グループシャッフルを行います)

14:20 討議会後半開始【「〇〇〇をブラッシュアップ！！」】



- 各世代が混在したグループを作る。
- 前半での討議を発表し、世代間の考え方の違い等を認識します。
- 違いを補うアイデアの検討。
- アイディアを活用した、新しい仕組み等の検討。

15:35 発表（各グループ質疑応答を含め7分程度）

16:25 投票（優劣ではなく、参加者がどの提案に共感したかの目安とする）

16:40 閉会

※各グループのファシリテートは、南区若者参加プロジェクト実行委員会委員が行い、参加した南区区民会議委員がサポートする形態でグループ進行を行った。

（4）討議結果の取扱い

討議の結果は南区区民会議に報告し、提言書作成のための資料とします。

前半討議「まちづくり」って何だろう？」

※ここでの「まちづくり」とは、団体活動等のソフト的な分野として考えてください。

グループ名 【 】	Ⅰ あなたにとって「まちづくり」とはどんなイメージですか。	Ⅱ まちづくりへの参加は大切だと思いますか	Ⅲ 誰が主体的にまちづくりを推進していくべきと思いますか。	Ⅳ まちづくりへ参加しやすくするためのアイデア
自 分 の 意 見				
グ ル ー プ の 意 見				
ま と め				
備 考				

後半討議「〇〇〇をブラッシュアップ!!」

※各グループで1枚作成（模造紙サイズ）

前半討議「“まちづくり”って何だろう？」		
若い世代の意見	働く世代・子育て世代の意見	高齢者世代の意見



認識・考え方が異なる事項



認識・考え方の違いを埋めるためのアイデア



アイデアを活かした世代間交流のための仕組み
【団体名称等】
『
【内容】
・
・
【必要なこと】
・
・
・
』

11 討議の結果～各グループの討議結果～

前半討議（同世代グループ）「“まちづくり”って何だろう？」意見			
テーマ	若い世代の意見	働く世代・子育て世代の意見	高齢者世代の意見
I あなたにとって「まちづくり」とはどんなイメージですか。	<ul style="list-style-type: none"> ○お年寄り・大人が運営している。 ○どこで、どんな人が運営しているかわからない。 ○地域活動やイベントへの参加 	<ul style="list-style-type: none"> ○暮らしやすさをUPする。 ○生活環境の充実 ○高齢者に支えられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○人との交流（あいさつ） ○緑の整備 ○学校などの公共施設 ○自治会のお祭りなどのイベント ○イベント等の運営に参加する ○堅いイメージ
II まちづくりへの参加は大切だと思いますか	<ul style="list-style-type: none"> ○大切だと思う。 ○団体に属するだけではなく、例えばお祭りに来ることで、既に町づくりに参加しているのではないか。 ○参加しなくても生活に支障はないので、自分達が必要はない。 		<ul style="list-style-type: none"> ○みんなの参加が大切 ○ご近所付き合いや地域の見守り機能として重要
III 誰が主体的にまちづくりを推進していくべきと思いますか。	<ul style="list-style-type: none"> ○若者でも機会があれば、参加したいと思う人は意外というと思う。 ○参加する機会がない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○行政が主体となるべき ○高齢者サークル ○子育て世代が中心となるべき ○自分自身が参加しなければならぬとは思っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○いろいろな世代 ○誰がというより、みんなが集まれる場所があり、交流することが必要
IV まちづくりへ参加しやすくするためのアイデア	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の合言葉をつくる。 ○自分の意見が言える場所づくり ○イベントがきっかけとなりまちづくりが起こる。 ○SNSでの情報発信 ○地域の魅力を伸ばすこと ○鎌倉小町通のような有名な場所 	<ul style="list-style-type: none"> ○人と人とのつながりをつくる。 ○誰でも参加できる体制づくり。 ○強制されず、楽しく行う活動 ○自慢できる事（物）を創る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○子供から高齢者まで住みやすい環境をつくる。 ○公民館の利便性の向上 ○どの世代も平等に、気持ちよく利用できる仕組み ○ペットをコミュニケーションツールとする。 ○行政からの恩恵が受けられる。



前半討議（同世代グループ）「“まちづくり”って何だろう？」まとめ

若い世代の意見	働く世代・子育て世代の意見	高齢者世代の意見
<p>○まちづくりは大切であると感じている。 ○でも、だれが主体に行っているかが分からない。 ○もっと情報発信が必要 ○若者も参加の機会が欲しい。 ○今回をきっかけに参加しようと思った。 ○運営側に廻るのが参加ではないのではないか。 ○自分の意見が言える場があると良い。</p>	<p>○まちづくりとは、暮らしやすくなること、生活環境が充実すること。 ○現在のまちづくり（地域活動）は高齢者の方に支えられている。 ○高齢者サークルや子育て世代が中心となって、まちづくりを進めるべき。 ○誰でも参加ができることが重要 ○楽しくて、強制されないことが重要 ○自分の趣味・興味に繋がれば参加率もあがるのではないか。 ○世代間交流の一環として、祭り、イベントは重要 ○住環境を良くする取り組みを多世代で実施することが必要 ○他に向けて、地域に自慢できる事（物）を創ることで一体感が増すのではないか。</p>	<p>○まちづくりとは人との交流 ○家族から広がり、子供から大人までが住みやすいまちをつくること。 ○ハード（建物・条例）よりもソフト（住民一人ひとりの考え方・教育）が重要 ○自治会として、何が求められているのかがわからない。 ○外国人の方も含め、地域の人が集まって交流する必要があるのではないか。 ○誰もが行きたい時に、行ける場所をつくる必要がある。 ○日常にとけこんだ交流を行うことが重要である。 ○キーワード 「交流」 「空き家の有効活用」 「チームワーク」 「美化」 「地域の文化度」</p>



後半討議（各世代混在グループ）：世代間の認識・考え方が異なる事項等の確認							
A	B	C	D	E	F	G	H
	<p>《共通点》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人と人とのつながりを大切にすること ・コミュニティづくり、仕組みづくりがあまりないこと。 <p>《異なる点》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりに対する見方 ・地域のイベントなどの参加の仕方 	<p>《共通点》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異なる世代が話し合える機会が欲しい ・参加しやすい雰囲気大切 	<ul style="list-style-type: none"> ・HP、SNSに出てこない。 ・信頼できる地域コミュニティがあると安心 ・地域で自治会の運営力に差がある。 ・現状では、頼れるのは家族、友人 ・自治会役員になり手がない。 ・定年後は、世間に干渉されずに生活がしたい。 ・少し強制的にしないと参加しないのではないか。 ・自発的には参加しにくい。 	<p>《異なる点》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世代ごとの集まりをあまり必要としていない。 ・子育て世代になって必要性に気づく。 ・転入出が激しいと地域特性が維持できない。 ・働き世代のボランティアは難しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・知りたい（人）と知って欲しい（人）がいること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交流することが、まちづくりになる と、どの世代も思っている。 ・イベントへの参加の仕方が異なる（スタッフかゲストか） 	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりの情報があれば参加したいと思っているが若い世代には、どこに情報があるかわからない。 ・働く世代、子世代は広報は見られるけど情報がわかりづらい。 ・シニア世代は、回覧板、掲示板、FMさがみ、広報で情報を入手する。



後半討議（各世代混在グループ）：認識・考え方の違いを埋めるためのアイデア

A	B	C	D	E	F	G	H
<ul style="list-style-type: none">・環境整備が必要	<ul style="list-style-type: none">・暖かく受入れられる。・家族や世代によって考え方を埋めるフォロー体制。・まちづくりのアピール方法（情報発信・共有方法）	<ul style="list-style-type: none">・小さい頃から参加できる自治会イベント	<ul style="list-style-type: none">・若者世代は参加する場がない。・子育て世代は時間的（精神的）にゆとりがない。・シニア世代に若者世代とつながっていただく（フォロー）	<ul style="list-style-type: none">・ボランティアに対するポイント制の導入・気軽に集まることのできる場所	<ul style="list-style-type: none">・団体と団体が交流できる場の創設・活動情報の発信（SNS、回覧板）	<ul style="list-style-type: none">・イベントを立ち上げるためのスタッフ募集する機会の立ち上げ。・そういう場があれば世代の違いを埋めることができるのではないか。	<ul style="list-style-type: none">・SNS、ツイッター、HPの活用・スーパー、デパート等よく行く場所の掲示板活用・公民館の掲示板を見やすくする（内容による色分け）・幼・保・小・中・高、教育の場での告知



後半討議（各世代混在グループ）：アイデアを活かした世代間交流のための仕組み

A	B	C	D	E	F	G	H
<p>【名称等】 『既存の団体 で無く、個人 で行政に発信 するシステ ム』</p> <p>【内容等】 小さい意見で も言える場所</p>	<p>【名称等】 『集まる場所 をブラッシュ アップ!!』</p> <p>【内容等】 ・魅力あるイ ベントに、い ろんな世代に 来てもらう。 ・巻き込む ・若者が活躍 できる場面を 増やす。 ・「よし！やろ う。」と思う。</p>	<p>【名称等】 『ボランティア自治会の○ ○イベント』</p> <p>【内容等】 ・年1回の参 加でもよい。 ・短期の実行 委員 ・自治会に入 っていないく てもよい。 ・運営は若い 世代、シニア 世代はアドバ イザー ・初心者でも 参加しやすい イベントであ ること。 ・子どもが参 加できる。世 代間交流がで きる。</p>	<p>【名称等】 『みんな子ども会へCom eback!!』</p> <p>【内容等】 ・ターゲット を小中学生に 絞り、自治会 活動を通じて 高齢世代とつ ながりをつく る。 ・学校行事に つなげる。</p>	<p>【名称等】 『公民館をブ ラッシュアッ プ』</p> <p>【内容等】 ・団体登録の 改善 ・開館時間の 見直し（世代 枠・抽選方法 など）</p>	<p>【名称等】 『さがトコ広 場』</p> <p>【内容等】 ・既存の空い ている場所を みんなの集ま る場所にする ・子どもの居 場所 ・世代間交流 の場所 ・出会いの場</p>	<p>【名称等】 『イベント開 催のためのス タッフ募集』</p> <p>【内容等】 ・イベントを 立ち上げるた めのスタッフ 募集</p>	<p>【名称等】 『ボランティア登録制度』</p> <p>【内容等】 ・まちづくり 情報の発信、 受信 ・1人では参 加しづらい、 情報に対する 不安等の払拭 を解決するこ とができる。</p>

<p>【必要事項】 とにかく参加の募集を募る。</p>	<p>【必要事項】 ・全てにおいて安全であること。 ・情報を発信し共有すること。 ・受入態勢を大切にす。</p>	<p>【必要事項】 ・一時的なボランティア制度の仕組みづくり。</p>	<p>【必要事項】 ・時間的に無理な親へのフォロー ・週末働いている方には、高齢者に子どもを預かってもらう。(高齢者の生きがいに繋げる。)</p>	<p>【必要事項】 ・団体登録時の団体人数を減らす ・抽選方法の改善 ・どの世代にも手軽に利用できるような周知</p>	<p>【必要事項】 ・主体になること。 ・各地域にあった仕組みづくり。 ・慎重な呼びかけ。 ・主催を知ってもらう</p>	<p>【必要事項】 ・一時的なスタッフ募集の仕組みづくり。</p>	<p>【必要事項】 ・事務局は、行政をバックにして、意欲あるボランティアを募る。</p>
共感者数：5	共感者数：5	共感者数：25	共感者数：18	共感者数：10	共感者数：23	共感者数：11	共感者数：24

12 アンケート集計結果【回答件数：38件】※無作為抽出参加者以外の回答も一部含んでいる。

該当する箇所に○を付けてください。

性別 男…12
女…26

年代 10代…9
20代…4
30代…6
40代…6
50代…3
60代…7
70代…3

職業 学生…10
主婦…6
会社員…10
自営業…2
公務員…1
アルバイト…3
その他…4
無回答…2

質問1 開催時間については、いかがでしたか。

- ①長い…5
 - ②ちょうどよい…29
 - ③短い…4
- (感想)

○始めは長いかと思いましたが、楽しい充実した時間となりました。
○すべての班が発表できたことも良かったが、3時間程度が良かった。
○話をまとめるのには短かった。

質問2 開催場所については、いかがでしたか。

- ①遠い…1
 - ②ちょうどよい…27
 - ③近い…10
- (感想)

○区民であれば知っている場所だし、分かりやすく良かった。
○車が無くても、駅から近かったので行きやすかった。
○交通が不便だった。

質問3 本討議会の趣旨について、ご理解いただけましたか。

①理解できた…35

②できなかった…3

(感想)

- 「まちづくり」について、考える機会となって良かった。
- 様々な世代の人と交流できて良かった。
- 難しいテーマであった。
- 自分が考えてきたことを十分話せなかったのは少し残念だったが、有意義だった。

質問4 今回は、「世代間交流促進のための仕組みづくり」について討論していただきましたが、南区の課題や、今後のまちづくりのアイディアにつなげるためのテーマ設定として適切であったと思いますか。

①適切だと思う…29

②適切ではないと思う…1

③どちらともいえない…7

※無回答…1

(感想)

- 南区での世代間交流が少ないように感じていたので、良いテーマだと思った。
- 世代間交流は永遠のテーマだと思う。
- 世代が違う人達の意見を聞くことができて良かったが、知識量の差もあり、不明な点もあった。
- もう少しテーマを絞った方がわかりやすい。

質問5 全体及びグループ討議会の進行はいかがでしたか。

①スムーズに行われていた…23

②解りづらかった…3

③どちらともいえない…12

(感想)

- 司会及びファシリテーターの進め方が良かった。始めは緊張し、意見が言いにくかったが、若プロの進行により和気あいあいとできた。
- 自分達と同じ立場の市民が主導し、違和感なく参加できました。
- 若プロのファシリテートに感心しました。
- 前半の流れがスムーズではなかった。別の話になったりしていたので、前半討議の紙に沿って進めてほしい。
- ファシリテーターのプロ1人に進行してもらおう方がもっとスムーズに進行できると思う。

質問6 討議方法について、前半は同世代、後半は各世代が混在したグループにより討議を行いました。この方法をどのように思いましたか。

①議論が深まった…30

②多くの意見を聞きたかったので、メンバー交替が必要。…7

③その他…1

(感想)

○同世代で感じていることを共有でき、各世代間での話の中で、気付かなかったことなどがわかって、とても面白かった。

○視点が広がって、全体の意見がわかりそれを踏まえた討議ができた。

○思った以上に身近な内容になったので、楽しかった。

○始めの説明で、同世代が集まっていると伝えてくれるとより良かったです。

○参加者同士の交流が出来る仕掛けがあるととっても良いと思う。

質問7 これまでに「シンポジウム」や「審議会」といった、市が主催する討議会や会議に参加したことはありますか。

①ある…4

②興味はあったが参加したことはない…5

③ない…29

質問8 今回の討議会に参加しようと思った一番の理由は何ですか。

①今回のテーマに興味があったので…3

②通知が届いて良い機会だと思ったので…21

③地域に貢献したいと思ったので…1

④無作為で選ばれた区民が集まるという趣旨に賛同したので…10

⑤その他…3

(感想)

○まちづくりに参加したい気持ちはあるが、参加方法がわからないため、勉強のため参加した。

○様々な世代で話し合う機会がないため。

質問9 今後も討議会に限らず、市民参加の試みに参加したいと思いませんか。

①参加したい…35

②参加するつもりはない…1

③その他…1

※無回答…1

(感想)

○興味がある内容であれば参加したい。

質問10 参加記念品について、いかがでしたか。

- ①不要…9
- ②多い…0
- ③ちょうどよい…20
- ④少ない…0
- ⑤交通費や謝礼など、ある程度の報酬は必要…2
- ⑥その他…1（記念品を目当てに来ているわけではない。）
- ※無回答…6
（感想）
○記念品より交通費をもらいたい。

質問11 今後、南区のまちづくりを考える際に、どのようなテーマを優先するべきと思いますか。

- 相模線の複線化等、ハード部分のテーマ
- 若者、家族が気軽に参加できるテーマやイベント
- 若い世代の人たちが頼られやすいまちづくり
- 「まちづくり」にどう参加してもらうか
- 区民の当事者意識が低いことについて
- 世代間交流と世代交代
- 住み続けたいと思うまちづくり
- 地域での支え合い、車いすでもスムーズに動けるまちづくり
- 気楽に声をかけあえるまち
- 外国人をうまく取り込むまち
- 行政への提案内容（福祉費の削減等）
- 安心安全、防災、美化、医療、文化、交通、NPO

質問12 今回の討議会についてのご意見、ご感想がありましたらご自由にお書きください。

- 普段関わることのない様々な世代の意見を聞くことができ、自分達とは違う視点から様々な光景が見え、貴重な機会となった。参加したことで、楽しく有意義な時間を過ごせた。
- 若プロのサポートによって進められた。若プロの活動を知りたいと思った。
- 無作為抽出という方法はとても良いアイデアだと思う。今後も年1度だけではなく、頻繁に開催してほしい。
- お知らせの通知をもっと親しみやすい感じにすると良いと思った。
- 地元のみまちづくりについて、考え直す良い機会が得られて良かった。
- コミュニティの持つ意見・視点に気付けたことは有意義であった。
- 他所から来たものですが、私が感じている南区の住み心地良さを、地元で育った方が気

付けていないことが驚きで新鮮だった。

○無作為抽出したアンケートを行政に活かす手法の採用を検討してほしい。

○住みやすいまちにするには、誰でも自由に自分の意見が発言する場所があるとよいと思う。

○真剣に地域のことを考えている方が沢山いることに感動した。

○「まちづくり」という漠然としてテーマだと話しにくいので、事前説明もしくは、もう少し絞ったテーマにした方が話しやすい。抽象的なテーマだと、イメージから入るので、本題に入るのに時間がかかる。

○行政との連携を考える必要があると今日改めて思った。まちづくりに参画したいと思っている人は沢山いるので、そこでの声、意見を行政に反映する仕組みを考えていけたらと思った。

○写真等を撮るのであれば事前に了承を得てほしかった。